

物流

新鮮な商品を効率的に店舗へ納品することが、燃料の使用や排出ガスの削減につながります。また、近隣住民の方々への配慮として、騒音防止にも取り組んでいます。

Environmental Performance

物流



EcoVoices

物流部
榎本良紀さん



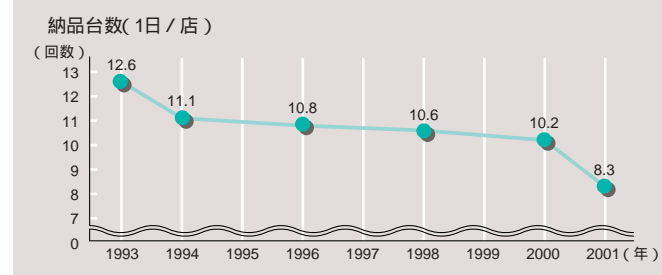
見過ごしていることに目を向ける
どんな作業でもそうですが、慣れがいちばん怖いですね。荷下りし時のドアの開閉にしても、無神経におこなえば当然音が出ます。作業者はもちろんのこと指導者もその状態に慣れてしまうと問題意識が希薄になります。そんなことにも目を向け続けることがいちばん大事かもしれません。

コンビニの縁の下の力持ちとして
お店に新鮮な商品を供給するために配送は1日たりとも休むことがありません。人の身体にたとえると血液のようなものですね。それだけに合理化による効果はコスト的にも環境的にも非常に大きいのです。これからいろいろな取り組みを実行していきたいですね。

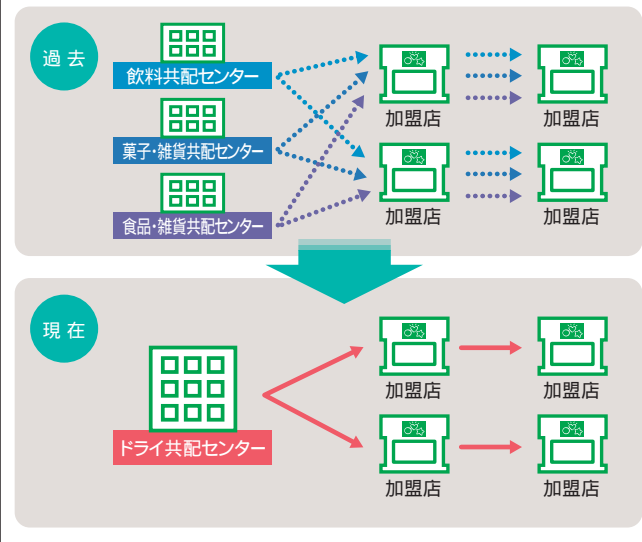
物流の合理化

合理化のための取り組み

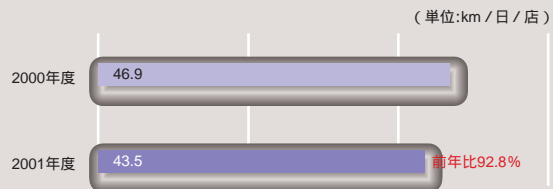
6月に冷蔵・定温物流の2温度帯混載を全エリアで実施し、10月には飲料、菓子・雑貨、食品・雑貨と3種類あった物流センターを統合しました。これにより配送ルート(混載化)を実現し、納品回数が削減できました。この結果1店舗1日あたりの配送車両走行距離は前年比92.8%に削減できました。



物流センターの統合



走行距離



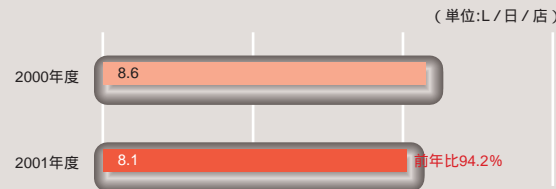
騒音対策

店舗に商品を搬入する際に使用する台車は、すべて静音タイプの台車に切り替えました。

低公害車両の導入

常温配送のトラックについては、7都県市指定低公害車を19台導入しました。

燃料使用量



静音台車



低公害車両

本部

ポスターなどの販促物の素材から、社用車の使用、オフィスの消耗品に至るまで、日々のなかでも環境のためにできることを実践しています。

Environmental Performance

本部



販促物の再生素材使用

店頭横断幕、のぼり、棚帯は、印刷方法の工夫によりペットボトル再生樹脂の使用を実現しました。また、商品POPについては非塩ビ素材、ポスター・パンフレット・チラシ類については再生紙を使用しています。



ペットボトル再生樹脂の横断幕



のぼりのエコマーク表示

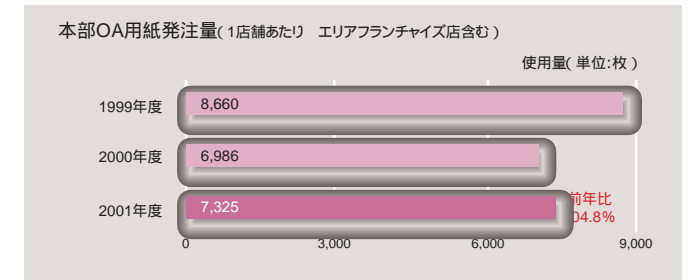
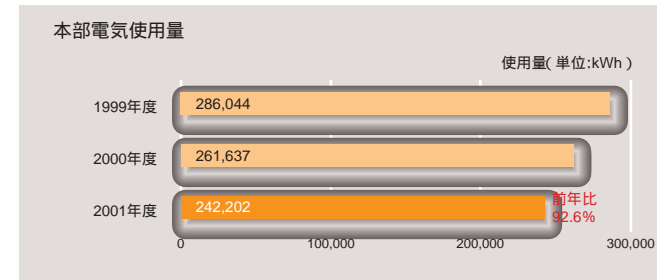
本部事務所での取り組み

省エネと省資源

OA用紙には再生紙を使用しています。さらにリサイクルボックス・裏紙ボックスを設置し、有効利用と廃棄物削減に取り組んでいます。また、照明やパソコンを離席時にこまめに切るなど、日常的に省エネにも取り組んでいます。

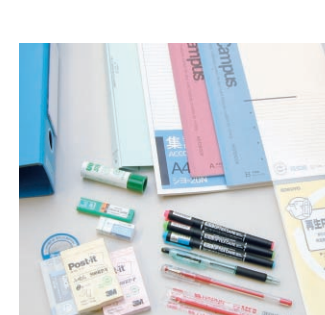


OA用紙裏紙ボックスの利用



グリーン購入

事務所で使用する文具・備品類は、エコマークの付いているものや再生素材を利用したもの、詰め替え式製品など、環境配慮商品を優先的に購入しています。



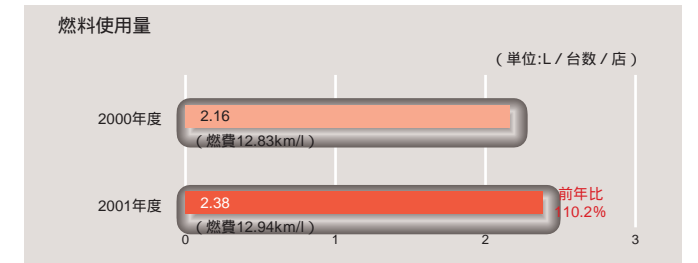
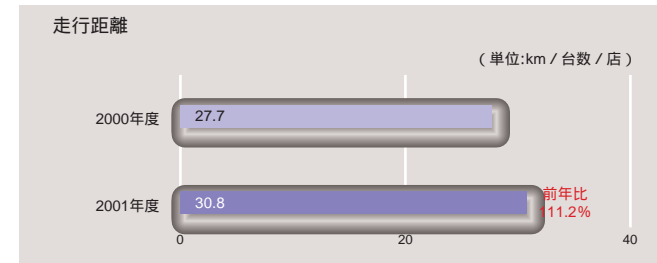
環境に配慮した事務用品



低排出ガスタイプの社用車

社用車の燃料使用と排出ガス

低排出ガスで燃費の良い車種へ社用車の切り替えを進め、その比率が96.2%となりました。また、アイドリングストップや公共交通機関の利用にも取り組みましたが、出店範囲の拡大により、走行距離が伸びたため燃料使用量が増加しました。



教育・監査・社会貢献

スリーエフの全員が環境意識と必要な知識を身につけるための教育を受けており、環境活動をチェックするための監査も毎年おこなっています。また、皆様に身近なコンビニとして、地域社会のより豊かな暮らしのお役に立ちたいと考えています。



EcoVoices

マーケティング室
大平昌夫さん



子供たちの笑顔が嬉しいです
「ちびっ子健康マラソン大会」には、毎年2,000名を超える小学生が参加します。終わった後の子供たちの笑顔を見るのが、何よりも嬉しいです。また、地元神奈川の湘南ベルマーレをスポンサーとして応援していますが、全国からの応援の声にも、地域を通じた社会貢献の大切さを痛感します。

地域貢献の原点に戻って
コンビニエンス事業を通して、地域社会のより豊かな暮らしと幸福のためにご奉仕することが、スリーエフチェーンの理念。こういった活動の積み重ねがあってこそ、お店に足を運んでくださるお客様に喜んでいただける「地域一番店」なのだと考えています。

環境教育

店舗
『エコネット』『スリーエフNews』などの冊子を活用して、ストアカウンセラーが店舗のパートさん、アルバイトさんの取り組む内容について教育をおこなっています。

本部従業員および社員
各自の必要なレベルに応じた教育をおこなっています。まず全員が「初期教育」を受け、さらに各部門の環境担当者、店舗指導をおこなうストアカウンセラー、内部環境監査員については、専門の教育をおこなっています。



店舗教育のツール

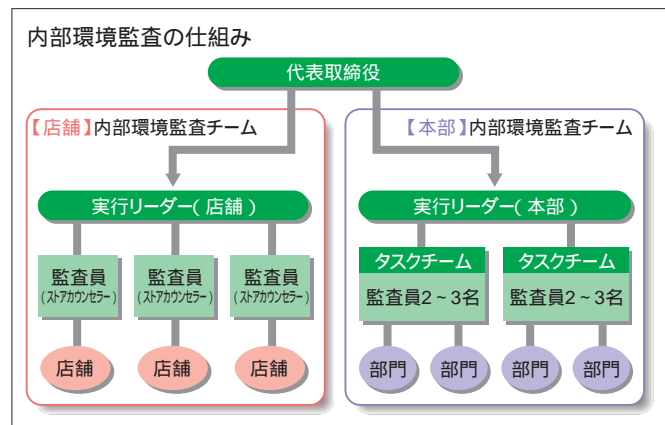


環境初期教育

内部環境監査

店舗監査と本部監査の2つに大きく分かれ、代表取締役から指名された各実行リーダーの指揮の下、監査員がチェックリストを用いて均一な監査を実施しています。監査のレベルアップを目指し、今回は監査の質問内容を詳しくしました。2001年10月に実施した結果、指摘事項はあがりましたが、いずれも是正処置をおこない全体的なレベル改善を図っています。

店舗...不適合4件および軽微な指摘事項2件(教育の徹底など)
本部...不適合3件および軽微な指摘事項1件(目標値の立て方など)



店舗審査風景

外部審査

2001年7月に、店舗および本部にて(財)日本規格協会によるISO14001の定期維持審査を受けました。その結果、3件の指摘事項があがりましたが、全体としては適切に環境マネジメントシステムが運用されているとの評価を受けました。

こどもエコクラブ出展・協賛

環境省・神奈川県・小田原市が主催する、全国の小・中学生を対象とした「こどもエコクラブ全国フェスティバルinおだわら」(2002年3月23日~24日)への協賛・ブース出展をおこないました。ブース内に設置されたパネルを見ながら、小・中学生にとって身近なコンビニ商品の健康や環境への配慮や、はし・レジ袋などの省資源について知る「コンビニ環境クイズ」は、ご好評をいただきました。



出展ブース



「環境クイズ」に答える

スポーツ協賛

毎年恒例となっているスポーツ大会に協賛し、お子様から本格的競技者までスポーツを楽しんでいただいております。

「スリーエフカップ日米親善トライアスロン大会」特別協賛(2001年8月19日)

夏休み期間中に開催され、初心者から楽しめる距離設定やアメリカンテイストあふれる雰囲気から人気の大会です。リレーの部・ファミリーの部もあることから、今回も5,000人以上の方が来場し、ご家族の応援などで楽しんでいただきました。

「ちびっ子健康マラソン大会」協賛(2001年11月23日)
地域の子供たちの健全な発育と健康増進を目的におこなわれ、毎年神奈川・東京の小学生2,000人以上が参加します。毎年必ず参加する元気なちびっ子ランナーも数多くいます。



日米親善トライアスロン大会



ちびっ子健康マラソン大会



湘南ベルマーレ

また、地元神奈川のJリーグサッカーチーム「湘南ベルマーレ」のクラブスポンサーとして、チームを応援しています。

店頭での募金活動

お客様からお預かりした募金は、緑化や社会福祉のお役に立っています。ご協力ありがとうございました。

「緑の募金」(社団法人 国土緑化推進機構)
総額: 689,431円(2001年3月1日~7月31日)
「愛の募金」(日本赤十字社)
総額: 1,605,912円(2001年8月1日~2002年2月28日)
「通リゃんせ基金」ラジオ・チャリティ・ミュージックソン(ニッポン放送)
総額: 170,415円(2001年12月10日~31日)



店頭の募金箱

職業体験学習への協力

中学生が実体験を通じて、自らの進路選択とさまざまな仕事への理解を深めることを目的におこなわれている横浜市の「職業体験学習」にスリーエフの店舗を提供し、コンビニエンスストアの仕事と役割を理解していただいています。



レジでの接客



商品を陳列